

# 平成30年度 いばらき輝く教師塾

期 日:第2日 10月20日(土)

会 場:茨城県教育研修センター

## <講義>

一人一人の子どもを大切にする教師の関わり方

## 講義資料



茨城県教育研修センター教育相談課  
指導主事 井上 宏孝

### 【要旨】

- ・アサーションとは、人との関わりの中で欠かすことのできない自他尊重のコミュニケーションのことである。
- ・アサーションを学ぶことは、他者との関係性を考える契機となる。教員として、一人一人の子どもを大切にするために、ぜひ学んでおきたい考え方である。
- ・教員及び子どもたちがアサーションを身に付け、実践することにより、人権意識や自尊感情の高揚、よりよい人間関係の構築と学びの質の高まりが期待できる。

## <ワークショップ①>

一人一人の子どもを大切にする教師の関わり方





## 塾生のアンケートより

- ・ 自他両者を尊重するというアサーションの大切さを学ぶことができた。自身の生活に生かすだけでなく、教育現場でも意識していきたい。【学生】
- ・ アサーションスキルを高めたい。また、子どもたちにも相手の気持ちや自分の気持ちを考えさせる機会を設けたいと思った。【若手教員】
- ・ 児童生徒一人一人の感性や性格は異なり、同じ言葉かけであっても受け取り方・感じ方が異なるので、一人一人に合う支援方法を考えられるようにしていきたい。【学生】

## < 講義 > 魅力のある学級づくり

### 講義資料



茨城県教育研修センター教職教育課  
指導主事 齋藤 亮一郎

#### 【要旨】

- ・ 学級づくりとは、学級経営の意義を理解した上で、未熟な集団を望ましい学級集団へと変容させることを目指している。
- ・ 学級経営で大切にしたいことは、児童生徒一人一人の個性が認められ、支え合い、励まし合うことのできる望ましい学級集団を育成することである。そのためには、児童生徒、保護者から信頼される教師であることが必要不可欠である。
- ・ 自分の思いが語れる教員になるために、日頃から豊かな人間性を目指し、自分の感性を磨いていくことが大切である。

## ＜ワークショップ②＞ 魅力のある学級づくり



### 塾生のアンケートより

- 魅力のある学級を築くためには、教師自身の学級経営の信念を明確に示して、子どもと向き合うことが大切だと気付いた。【学生】
- 学級開きの所信表明は、導入、内容、話し方で子どもたちの目の輝きが変わる。魅力のある理想的な学級を築けるよう、しっかりと考えていきたい。【若手教員】
- 所信表明の演習では、同じ班の方々の話から、子どもへの愛情や情熱が伝わり、言葉や態度から優しい人柄を感じることができ、よい刺激になった。【学生】